

オープン委員会
委員会活動報告会 資料

平成29年度 委員会活動報告

平成30年2月1日

地域との繋がりを深める委員会

I 地域との繋がりを深める委員会の概要

委員会テーマ …… ～地域との連携を深めるためには？～

活動概要

背景

- 少子化に伴い児童数が減少しております。
- PTAの会費収入も減少傾向にあります。
- PTA行事が縮小傾向にあります。

目的

- 実施すべきPTA行事を地域の皆様にご協力頂き、盛り上げていきたい。

実施内容

- 各学校の活動事例を紹介し合いました。
- 信州型コミュニティスクールについては、オープン委員会で学びました。
- 今後の各学校の取組み案や改善案をみんなで楽しく議論しました。
- その結果をお持ち帰り頂き、来期以降の活動に生かして頂けるような仕組みを作りました。



Ⅱ 委員会の仲間たち①

活動スローガン…明るく、楽しく、元気良く、そしてパワフルに！



Ⅱ 委員会の仲間たち②

36名の皆様と共に1年間活動してきました。

委員の皆様

旭町小	小山 修	丸ノ内中	山田 忠幸	島内小	犬飼 節美
旭町小	井口 ルミ	源池小	矢沢 哲也	島立小	中川 雅能
旭町小	今井 百合子	今井小	櫻井 伸彦	二子小	濱 和彦
梓川小	米盛 健	山辺小	百瀬 久美子	波田小	山本 ミチ江
安曇小中	奥原 美鈴	山辺中	日野原 利治	波田中	根本 富美
岡田小	松田 匡弘	四賀小	滝澤 修	附属小	水城 由貴
岡田小	山田 由紀	菅野小	三村 崇徳	並柳小	羽田野 聡
開智小	神山 和彦	清水小	八坂 文明	明善中	岸田 浩和
開明小	中川 宏昌	筑摩小	降旗 一路	鉢盛中	種田 亮太
鎌田小	宮崎 堅太郎	田川小	宮城 光伸		

役職	委員長	副委員長	委員会幹事	助言者	助言者
名前	横内 昌彦 (市P連 幹事)	清澤 靖仁 (鉢盛中) 服田 芳明 (明善小)	上條久美子 (鉢盛中) 永田 陽子 (明善小)	湯本 武司 (鉢盛中)	幾嶋 肇 (明善小)

Ⅲ年間活動概要

第1回	5/25 (木)	事例発表と グループ討議	地域とのつながりを深める各校の取り組み事例 紹介 ① 委員長副委員長の所属校の取組み事例発表 グループ討議 『事例発表による良い点・改善すべき点・改善方法』	インプット 重視 委員の皆様 の学びの場
第2回	6/22 (木)	事例発表と グループ討議	地域とのつながりを深める各校の取り組み事例 紹介 ② 皆さんの所属校の取組み事例発表 グループ討議 『事例発表(参加者所属校の自慢大会)』	
第3回	7/8 (土)	懇親会	情報交換で、大いに盛り上がりました！ 無国籍ダイニング Ku(くー) 2次会はカラオケで10人以上の方が日付が変わる迄、盛り上がりました。	
第4回	9/21 (木)	オープン委員会 講演会 グループ討議	講演会 テーマ: 『松本版・信州型コミュニティスクールの取組みについて』 講師: 松本市学校指導課 横田課長	
第5回	10/19 (木)	改善提案作成 グループ討議	グループ討議 テーマ 『所属校の取組みを少ない負担で、どう企画・改善する?』 G討議でみんなでワイワイガヤガヤ知恵出ししましょう!	アウトプット 重視 活動の成果 作成
第6回	11/16 (木)	改善提案作成 グループ討議	グループ討議 テーマ 『所属校の取組みを少ない負担で、どう企画・改善する?』 G討議でみんなでワイワイガヤガヤ知恵出ししましょう!	
第7回	2/1 (木)	活動 報告会	4委員会の1年間の活動報告	
第8回	2/17 (土)	慰労会	1年間の慰労を兼ねた懇親会 慰労と情報交換で、大いに盛り上がりましょう!	

IV 委員会の活動で良かった点

① 毎回 必ず グループディスカッションを実施しました。

初回は自己紹介に代えて実施、講演会の後も実施、アウトプット作成もグループ討議で実施！

⇒ **みんな、仲良くなりました。仲間同士情報交換が出来るようになりました。** 単位PTAの会長さん副会長さんは多くの他校事例を知り、困ったときに相談できる仲間がたくさん必要です。

ワイワイガヤガヤ、笑い声の絶えない委員会でした。

正直、滑ったこともありましたが、それはそれで楽しかったです。

② アイスブレイキングをたくさん実施しました。

アイスブレイキングとは、『氷を解かす』という意味で、**簡単なゲームをすることにより、みんなの緊張感をほぐす効果**があり、単位PTAでも使える手法です。

例えば、後出しじゃんけん・じゃんけん最多勝者決定戦、愛の折り紙 等
⇒ 3分程度のひと工夫で、場の雰囲気明るくなります。

③ 毎回、記録を残しました。毎回、発表の場を設けました。

グループ討議で、グループ毎に毎回記録者を設定し、ポイントを記録してもらいました。リーダーを決め、グループ発表も毎回必ず実施しました。
⇒ 報告書作成等、委員会の成果をまとめるのに大変助かりました。

皆さん、堂々とした発表でした。流石は、単位PTAの会長さん、副会長さん！

V 各校PTAからの事例発表①

取組み事例紹介(抜粋) — 全てを紹介できません。委員の皆さん、すみません！！

- 山辺小 ぶどう作り 6年生が5～10月にぶどう作りのいろいろな工程にかかわる。松本市長へお届け。給食の時間に全校でぶどう食べる。ワインは6年生が成人したときに親子で飲む。ぶどう栽培については山辺中も同様の取組みあり。
- 山辺小 通学合宿 美ヶ原少年自然の家に9月下旬、4～6年生が4泊の合宿をし、共同生活をしながら通学する。星空観察や自然観察、歴史や文化のお話、囲碁将棋教室、食事作りお手伝いなどを体験する。1日に地域の方が20人以上参加する。
- 波田小 収穫祭 5年生が社会科の『お茶づくり』の授業の一環として、実際に体験学習する。収穫祭にお茶づくりの講師の方を招待する。収穫祭は餅つきや豚汁作りがある。
- 岡田小 夏休み補修 夏休みに学校を開放し、希望者が朝から登校しみんなで勉強する。夏休み帳1頁終わる毎に地域の方が〇付けをしてくれる。宿題ペースが早まる。
- 島内小 地域から学習支援を受ける 1年:七夕人形作り、昔の遊び、2年:豆腐作り、ヤギ飼育 3年:地域巡り、5年:田植え稲刈り 地域の方を講師としていろいろ教わる。
- 鉢盛中 地区文化祭への参加 今井公民館文化祭・山形村文化祭・朝日村文化祭へ吹奏楽部・合唱部・美術部が参加 (同様な取組みは他校でも多数あり)

V 各校PTAからの事例発表②

- 丸の内中 花植え活動 生徒会活動への大手公民館の皆様による支援。
花を育てる・花に親しむ・花から学ぶ を大手公民館の皆様より学ぶことが出来た。
- 山辺中 ドリーム大学 入学は6月、終了式は9/末、18講座を持ち、6～13回程行う。
講師は地域の方、生徒は中学生と地域の方ならば誰でも参加できる。
- 二子小 夏休みラジオ体操 町会長さんがお声がけして下さり、地域の皆様が20～30名参加
本郷小でも同様の取組みあり。
- 旭町小 花いっぱい運動 バザーで花や苗を売る。収益は大きい。PTAのOG・OBが参加。
- 鉢盛中 りんごの摘果作業 2～3年生が参加し、その収益で150冊の書籍と図書館棚を購入。
- 今井小 福祉広場交流 高齢の方々との交流を学年毎に行う。1年:お正月遊び、2年:豆腐作り、
3年:昔の道具や生活について、4年:昔のおやつ作り、
5年:やしょうま作り、6年:戦争時代の話
今井福祉協議会高齢者部会の協力により、今井の文化の継承になればという思いがある。
- 本郷小 温泉体験学習 浅間温泉旅館組合の協力の基に複数の温泉旅館で受け入れて
頂いている。学年毎に実施日を変え、授業の一部として実施している。
対象は1～3年生(2年前までは全学年であった) 担任の先生や校長
先生教頭先生も一緒に入浴している。

委員の皆様からの報告に基づき、記載させて頂きました。感謝です！

VI松本版・信州型コミュニティスクールの取組み①

松本市学校指導課 横田課長をお招きし、標題テーマの講演会を実施頂きました。

講演会 要旨

- 下記のために地域との連携が必要
 - イ、社会が多様化し多様なニーズを抱える学校教育の質的・量的な充実を図るため。
 - ロ、社会的自立につながる体験・交流や、郷土への愛着を育む地域学習を進めるため。
 - ハ、地域社会の生きがいや学びの場づくりのため。
 - ニ、過疎化や高齢化、絆の低下の中で、学校を核とした地域の活性化や地域の教育力向上のため。
- ※ **イとロは学校の要請、ハとニは地域の要請**
- コミュニティスクールとは、**学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協議しながら「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み**である。
- **信州型コミュニティスクールは、運営委員会を設置することが特長で、学校運営参画、学校支援、学校関係者評価の3つの機能を持つ。一番の要は学校支援(学校サポート)である。**
- **松本版信州型コミュニティスクールとは、公民館との連携を大切にしながら、学校支援を基盤に進めていく仕組みであり、コーディネーターは公民館長さんが担当する。(PTA関係者も運営委員)**

VI松本版・信州型コミュニティスクールの取組み②

講演会 要旨(前頁から続き)

- 学校支援の運営委員会は、市内の小学校、中学校で組織されている。(一部は小中合同委員会)
- 読み聞かせ、実技支援、学習支援、ゲストティーチャー、交流、環境整備、安全指導 等、多くの学校の取組みを、写真を含めてご紹介頂いた。
- 地域との連携における教職員の声
 - イ、教えて頂く地域の方への敬意と親近感を持つ子が増えている。
 - ロ、新しい知識や技術の習得により子どもたちの意欲の向上がみられる。
- 地域との連携におけるボランティアの声
 - イ、毎朝の見守り隊で、子どもたちの「おはよう」の挨拶で心も体も温まる。
 - ロ、読み聞かせを聞いた子どもから、「また、読んでね」と声を掛けられると、うれしくなる。
 - ハ、とてもやりがいを感じる。

講演会後のグループディスカッション意見集約

松本版信州型コミュニティスクールの取組みは大変素晴らしい内容でした。でもこれは、**学校と地域との繋がりで、PTAの関わりが薄くなってしまっています。**PTAの行事(特に地区PTA行事)も地域の皆様の協力を得ながら実施することが出来れば、**更に素晴らしい地域との連携が実現すると思います。**
⇒ **では、どうするか？これが次回以降の委員会のテーマです！！**

VII 単位PTAの地域との連携の取組みをどう見直すか？

改善案の作成

単位PTAをより活発にして頂くヒント、地域とのつながりを前提とした**既存行事の改善案**をみんなで作りましょう！

難しく考えるのではなく、**成功事例を出し合えばいい**のです。

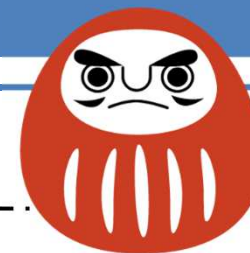
具体的には…

下記、4つのテーマに分かれて改善案を作成頂きました。
委員の皆様からは予めご希望をお聞きし、班分けしました。

全てグループ
ディスカッション
で進めました。

- 1班 地域の皆様からご協力を得た**三九郎作り、資源物回収**
- 2班 地域の皆様と一緒に**ラジオ体操、PTAバザー**
- 3班 地区PTA行事で、こんなことについて**地域の皆様のご協力を得たい。**
- 4班 特定の学校で**ご活躍の人材に、地域の枠を超えて、ご協力頂くための仕組み作り。**

皿見直し提案 1班 三九郎作成・資源物回収



三九郎作成

現状

- 保護者だけで実施している地区と、地区の皆様にも協力頂いている地区、地区主導で実施している地区と様々である。
- 保護者(PTA)主導の地区の中には、人手確保と負担が大変であり、止めることもできずに困っている地区もある。
- はぜ掛けでお米を作らないため、藁が集まらないため買ってる地区もあり、買ってまで続ける必要があるのかという意見が出ている。

改善案

- 先ずは三九郎をなぜ実施しているのかを知る必要がある。(地域の貴重な伝統行事⇒後世に伝える)
(以下、松本市博物館の発行資料より部分抜粋)
 - イ、火に身体を当てると丈夫になる、団子などを焼いて食べると風邪をひかない、書初めを火にかざして高く舞い上がると上達するなど、火を神聖視する信仰と結びつく。
 - ロ、県内では、ドンドヤキ等、約30の呼称がある。三九郎という呼び名は塩尻市から北安曇南部までの呼称である。由来は諸説あるが、凶作・重税・疾病の3つの苦勞とする説や、三本の柱に九本の横木を渡すとする説等がある。
- 保護者(PTA)主導の地区は、地区の協力を得ている地区や、地区主導の地区が多くあることを知って頂き、現状を説明する中で、地区長さんや公民館長さんへ協力を求めると良い。人手不足、ノウハウの不足、藁の不足等は、改善されることが期待できる。

Ⅷ見直し提案 1班 三九郎作成・資源物回収

資源物回収

現状

- 一般的にバザーと比較すると、苦勞のわりに得られる収益が低い傾向にある。
- 比較的多額の収益を得ているPTAもあり、ノウハウを共有することにより、改善が可能と思われる。
- 古紙や空き缶等、いつでもスーパーで処理できるので、昔に比べて集まらない。
- 小学生・中学生・地域がそれぞれ実施しており、バッティングし、取り合いになることがある。

改善案

- 年1回の回収ではなく、回収機会を増やす。
 - イ、年2回の全戸回収と、年5回の参観日に古紙持参する。
 - ロ、PTA作業のときに持参頂く。（負担軽減）
- 毎月ある市の資源物回収に当番で立ったところが収益を得る。
（保育園・小学校・中学校・老人クラブ・地区 等） ⇒ 地区主導で関係者との調整が必要
- 回覧板での事前案内により、子どものいない地区や子どものいない家庭からも提供頂く。
- 家庭数の少ない地区には、地域の方へ回収の協力（人的協力）をお願いする。



Ⅷ見直し提案 2班 ラジオ体操・バザー



ラジオ体操

現状

- ▶ ラジオ体操の実施日数が少ない。
(夏休み中に、わずか3～5日間しかない地区がほとんど。土日なし・お盆以降実施なしは普通。)
- ▶ 昔はラジオ体操は、夏休み期間中を通じて実施していた。しかし、保護者の立会い負担軽減を理由に短縮化される傾向にある。
- ▶ ラジオ体操は地区PTAの行事で、現状地域の方の参加は皆無である地区が多い。地域の方を含めて多くの方に立会いをお願いできることが理想である。
- ▶ 乱れがちな夏休み中の子どもたちの生活習慣を維持するには良い取り組みである。
- ▶ ラジオ体操は、早寝早起き朝ごはんの習慣作りに極めて有効である。

改善案

- ▶ 町会長さんに根回しをした上で、回覧板で参加を呼び掛けると良い。
- ▶ 思い切って、10日程度の期間設定してみてもどうか？
H28年度に本郷小学校管轄の14地区で実施し、8～9割の地区で賛同頂く。
同校では、ラジオ体操の効果を理解いただき、保護者からの反発は皆無であった。
同校では、地区によって、毎日15名程度の地域の皆様に参加頂いた。
同校では、子ども達がラジオ体操第2を知らず、代わりに松本市推奨の元気アップ体操を実施した。
- ▶ 旭町小学校のある地区で、H29年に始業式前日まで実施した事例がある。強制をしなかったため、保護者からの反発はなく、逆に体調が良かったとの好意的な意見があった。

Ⅷ見直し提案 2班 ラジオ体操・バザー

PTAバザー

現状

- ▶ 一般的に資源物回収と比較すると、収益の金額は多いが、一部の役員に大きな負担がかかる。
- ▶ 多くの収益を得ているPTAもあり、ノウハウを共有することにより、改善が可能と思われる。

改善案

- ▶ 街中にある開智小学校では地域との連携が出来ており、大きな収益に繋がっている。
 - イ、地域の飲食店に出店頂いており、売上歩合で収益の一部を寄付頂いている。
 - ロ、バザーのチラシに、地域の企業やお店が協賛広告を有料で載せて頂いている。
 - ハ、地域の企業やお店が、バザーの販売品を無償提供頂いている。
- 二、これらは何年も前から仕組みとしてできており、地域から普通に協力が得られる。
 - ⇒ 仕組みがない中から始めるのであれば、歴代のPTA役員が経営する飲食店やお店、企業に相談し、同業者をまとめてもらうのが良い方法かもしれない。
- ▶ 岡田小学校では、単に収益を得るだけでなく、子どもたちが楽しめるゲーム・くじ引き・ヨーヨー釣りなどを準備している。



Ⅷ見直し提案 3班 地区PTA活動で地域の方の協力を得たい。

地区PTA行事で、こんなことについて地域の皆様のご協力を得たい。

現状

- 現状、保護者（PTA）のみでは、活動の負担が大変であり、PTA行事は縮小廃止の傾向にある。
- 地域の方の協力を得ながら、PTAを盛り上げていきたいが、どうしたらよいかわからない。
- 信州型コミュニティスクールにより、学校と地域の結びつきは強くなったが、地域と保護者（PTA）とのつながりが弱い。

改善案

- PTA、OB・OGの組織（サポート隊）作り
 - イ、子育てが終わったPTAの方へ応援を呼び掛ける。
 - ロ、単位PTA毎に支援募集を募る。
 - ハ、松本市や松本市PTA連合会から支援を募る。
 - ニ、各単位PTAの年間行事と支援依頼行内の案内（何を支援して欲しいのかより具体的に）
 - ホ、過去の事例（この場合、どうしたのか、過去経験の募集）
 - ヘ、各町会子ども会（地区PTA）より、支援募集をかける。
- PTA・校長会・公民館長会が協議会を持つ。
- 大きな災害が起きた場合、学校の体育館が避難場所になる。そして、PTAが仕切りを任されることになる。熊本地震の際には、学校体育館の避難場所でPTAが活躍した。松本市HPでも同様のことを期待される記載がある。有事の際に期待に応えられるような、日頃からの地域とのコミュニケーションが必要である。



Ⅷ見直し提案 4班 ご活躍の人材に協力を得るための仕組み作り

特定の学校でご活躍の人材に、地域の枠を超えて協力頂くための仕組み作り

現状

- 各校や各地区PTAは、その地域の人材のみに頼っている。
- 各地域にいる人材以外に頼ることが出来ない。仮に頼ることが出来ても、高額な派遣料を伴う。
- 地域でご活躍の人材を、学校は知っていても、PTAが知らないことが多い。
- 有能な人材も、基本的にその地区内でしか力を発揮することが出来ない。

改善案

- 他校での取組みや指導者を全体で知ることで、人材バンクのように共有したい。
 - イ、各校の取組み事例を知る。
 - ロ、良い取組み事例について、その指導者を登録いただく。
 - ハ、登録頂く仕組み作りを、市教委に依頼する。
 - ニ、仮に市教委で難しければ、松本市PTA連合会でできないか検討してみる。
 - ホ、市教委か市P連で、各校PTA若しくは地区PTAの活動に登録人材を紹介できる窓口を設置することを検討する。



Ⅸ最後に

ご清聴頂き、ありがとうございました。

本資料に関する詳細お問合せ先：

松本市PTA連合会 地域との繋がりを深める委員会 委員長：横内昌彦 宛

地域との繋がりを深める委員会の方は、電話番号やメール、ラインを交換しておりますので、直接お問い合わせください。

その他の方は、松本市PTA連合会事務局(0263-33-1373)を通じてお願い致します。

以上が、一年間かけて、36名の仲間と共にまとめさせて頂いた活動報告です。
助言者の校長先生、副委員長の皆様、委員会幹事の皆様、そして委員の皆様へ感謝申し上げますとともに、この報告内容が今後の各校PTA活動の参考になることを願い、私からの報告とさせていただきます。

平成30年2月1日 横内 昌彦